



# 平成29年1月期 決算発表ご説明資料

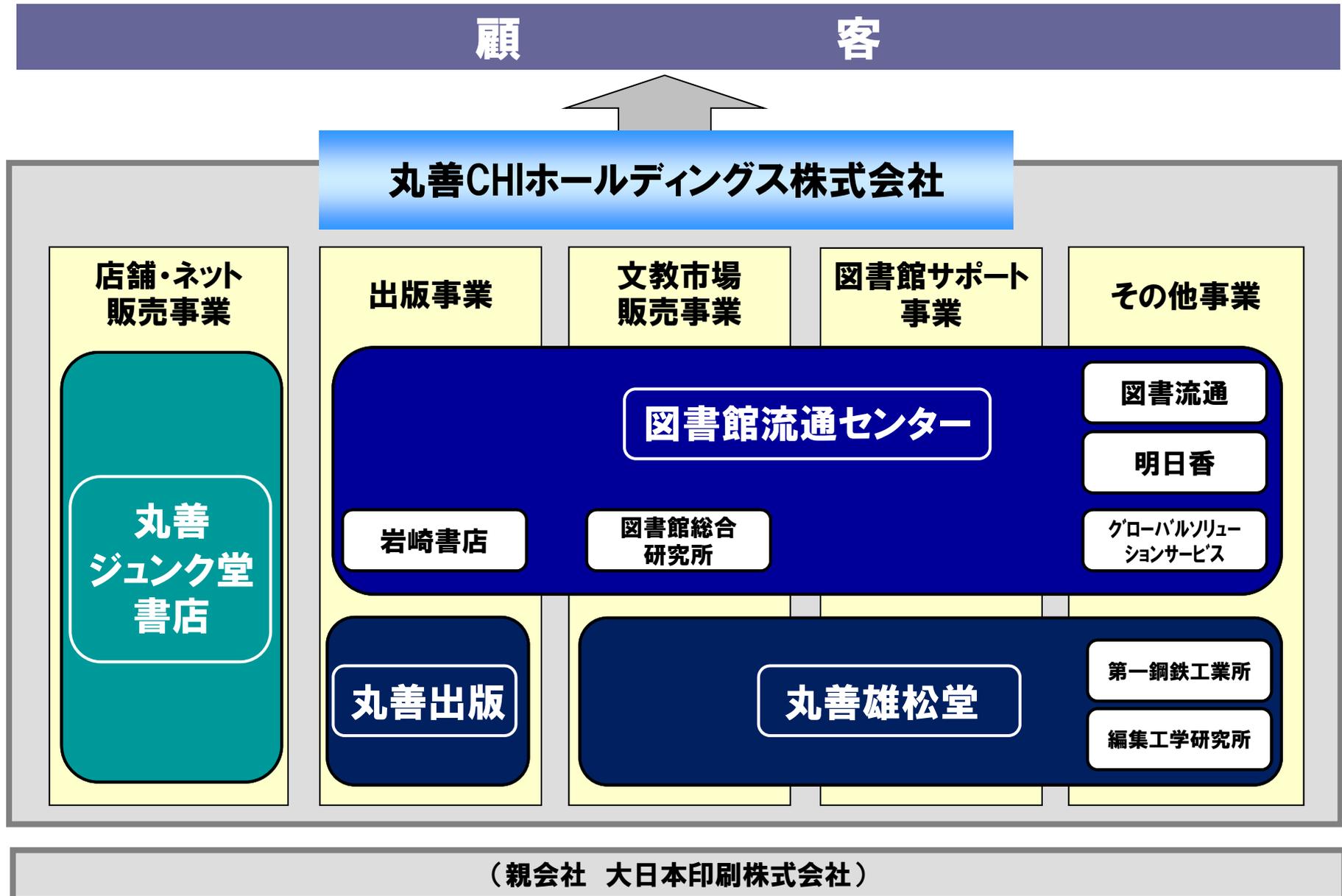
(当社第7期 平成28年2月1日～平成29年1月31日)

---

**丸善CHIホールディングス株式会社**

平成29年3月16日

# 1. 当社の体制図



## 2. 当期・平成29年1月期 業績サマリー・計画比

- 当期売上高は、出版流通市場の厳しさから、店舗・ネット販売事業における既存店売上と出版事業売上が計画から乖離、またその他事業においても、市場環境の変化から厳しい売上となった。一方で、文教市場販売事業、図書館サポート事業は堅調に推移し、店舗ネット販売においてフランチャイズ店向け新規売上が大きく増加した。これらのことから、売上高は期初予想を約19億円(+1.1%)上回った。
- 上記増収要因のうちフランチャイズ向け売上は利益率が低く増益効果は限定的であった。一方、退職給付債務の算定方法の変更により当期一過性の原価・経費の増が発生した結果、営業利益は約3.7億円(△15.7%)、経常利益は約2.4億円(△10.9%)期初予想を下回った。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、店舗・ネット販売市場が継続的に厳しい市場環境にあることから、将来収益を保守的に見直した結果、計上するべき減損損失が増加し、約6.3億円(△53.9%)下回った。

◆平成28年2月1日～平成29年1月31日

(単位:百万円)

【平成29年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
業績予想値 (平成28年3月15日発表)	176,500	2,410	2,260	1,170
実績(本日発表)	178,405	2,032	2,013	539
対業績予想 増減	1,905	△378	△247	△631
対業績予想 比率	101.1%	84.3%	89.1%	46.1%

## 2. 当期・平成29年1月期 業績サマリー・前年比

- 売上高は、文教市場販売事業における図書館向け書籍販売や教育・研究施設の設計・施工案件の受注、店舗・ネット販売事業における新規フランチャイズ店等への卸売上の増加、図書館サポート事業の案件増加により、前年比で約32億円(+1.9%)上回った。
- 営業利益では、上記増収による要因や減価償却費の減による大幅なコスト削減効果があったものの、店舗・ネット販売事業では既存店売上減により赤字幅が拡大、また退職給付債務の算定方法の変更や図書館サポート事業における原価・販管費の増加等により、営業利益は前年比約1.7億円(△7.8%)、経常利益は約2億円(△9.6%)のそれぞれ減益となった。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益等により特別利益は増加したが、前ページの事由から減損損失が前年から大幅に増加し、約4.8億円(△47.4%)の減益となった。

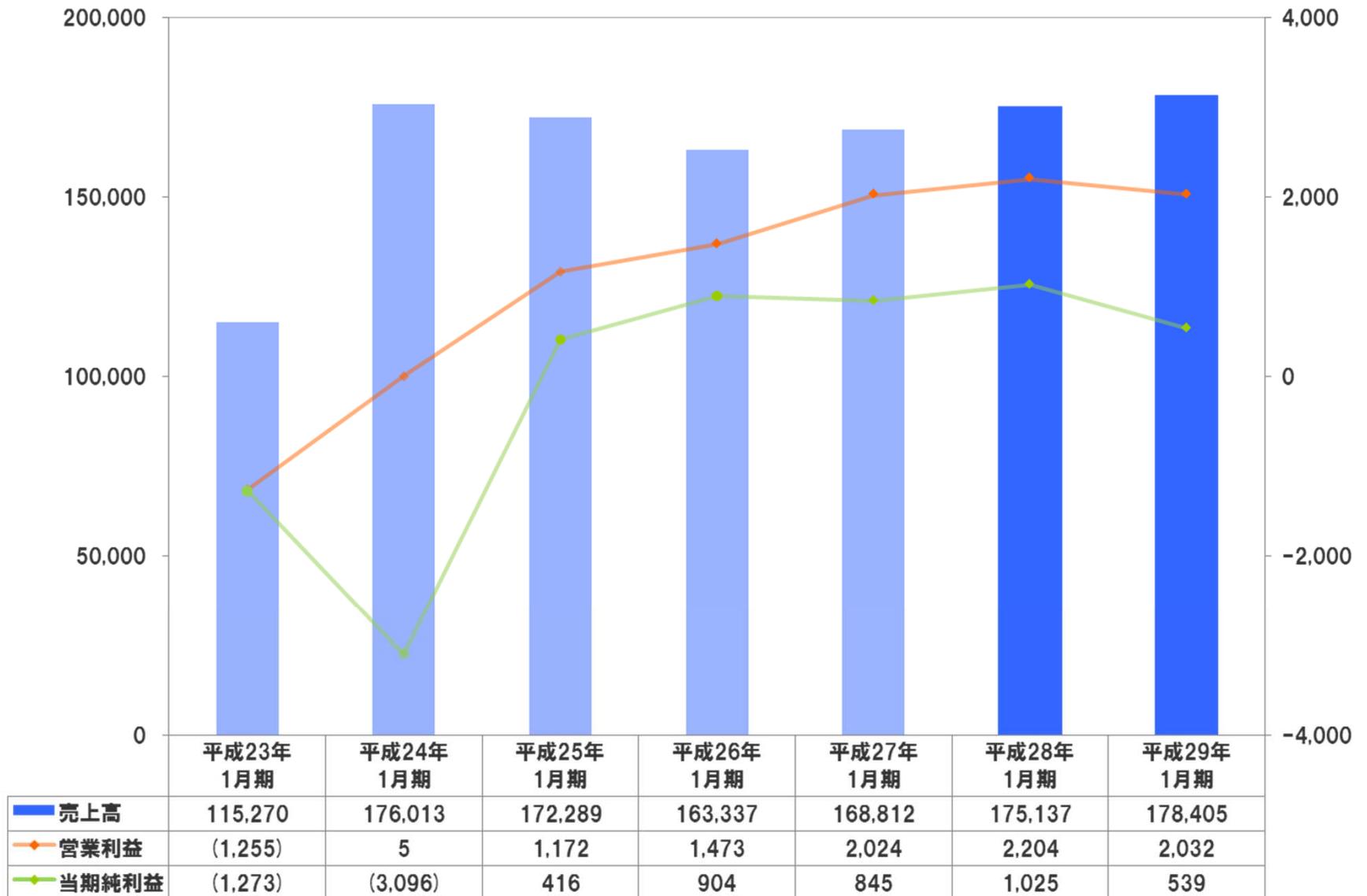
◆平成28年2月1日～平成29年1月31日 前年同期比

(単位:百万円)

【平成29年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前年同期実績 (平成28年1月期)	175,137	2,204	2,226	1,025
当期実績 (平成29年1月期)	178,405	2,032	2,013	539
対前年同期 増減	+3,267	△171	△212	△486
対前年同期 比率	101.9%	92.2%	90.4%	52.6%

## 2. 業績サマリー 推移表(連結)

(単位:百万円)



### 3. 当期・平成29年1月期のセグメント損益(連結)

◆平成28年2月1日～平成29年1月31日

(単位:百万円)

連結	売上高			営業利益		
	当期	前期	対前比	当期	前期	対前比
文教市場販売事業	61,055	59,547	102.5%	2,994	1,808	165.6%
店舗・ネット販売事業	76,382	75,223	101.5%	△978	△335	---
図書館サポート事業	22,801	20,669	110.3%	1,935	2,124	91.1%
出版事業	4,467	4,571	97.7%	160	325	49.2%
その他事業	13,698	15,215	90.6%	518	755	68.6%
消去又は全社	---	---	---	△2,597	△2,474	---
合計	178,405	175,137	101.9%	2,032	2,204	92.2%

## 4. 主要事業 ①文教市場販売事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成29年 1月期	61,055	2,994
対前比	1,507 (102.5%)	1,185 (165.6%)

■売上高 ▲営業利益

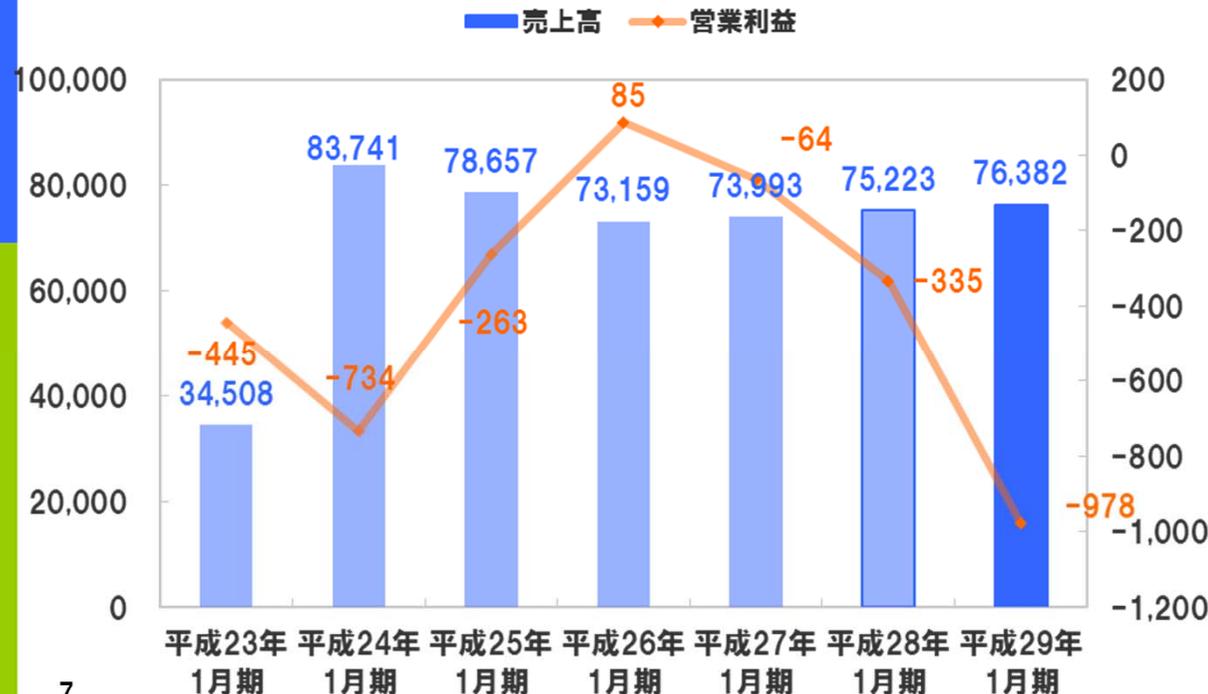


- 公共図書館向け書籍販売が順調に推移し、教育・研究施設、図書館などの設計・施工において大型案件の受注があったことから、売上高は前年比+2.5%の増収となった。
- 増収効果に加え、減価償却費の減少などによる販管費の減少もあり、営業利益は前年比+65.6%の増益となった。

## 4. 主要事業 ②店舗・ネット販売事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成29年 1月期	76,382	△978
対前比	1,159 (101.5%)	△643 (---)



- 当期において5店舗を出店し、4店舗を閉店し、スクラップ&ビルドを継続したが、既存店売上が厳しく推移した。一方新規フランチャイズ店への卸売が増加したことで、売上高は前年比+1.5%の増収となった。
- 営業利益は、増加した卸売上の利益率が低いことと、既存店の厳しい状況、および退職給付債務の算定方法の変更による一時的な費用増により、前年比△6.4億円の減益となった。
- 平成29年1月末時点における店舗数は「MARUZEN」「ジュンク堂書店」ブランド以外の店舗名を含め、91店舗となっている。

## 4. 主要事業 ③図書館サポート事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成29年 1月期	22,801	1,935
対前比	2,132 (110.3%)	△189 (91.1%)

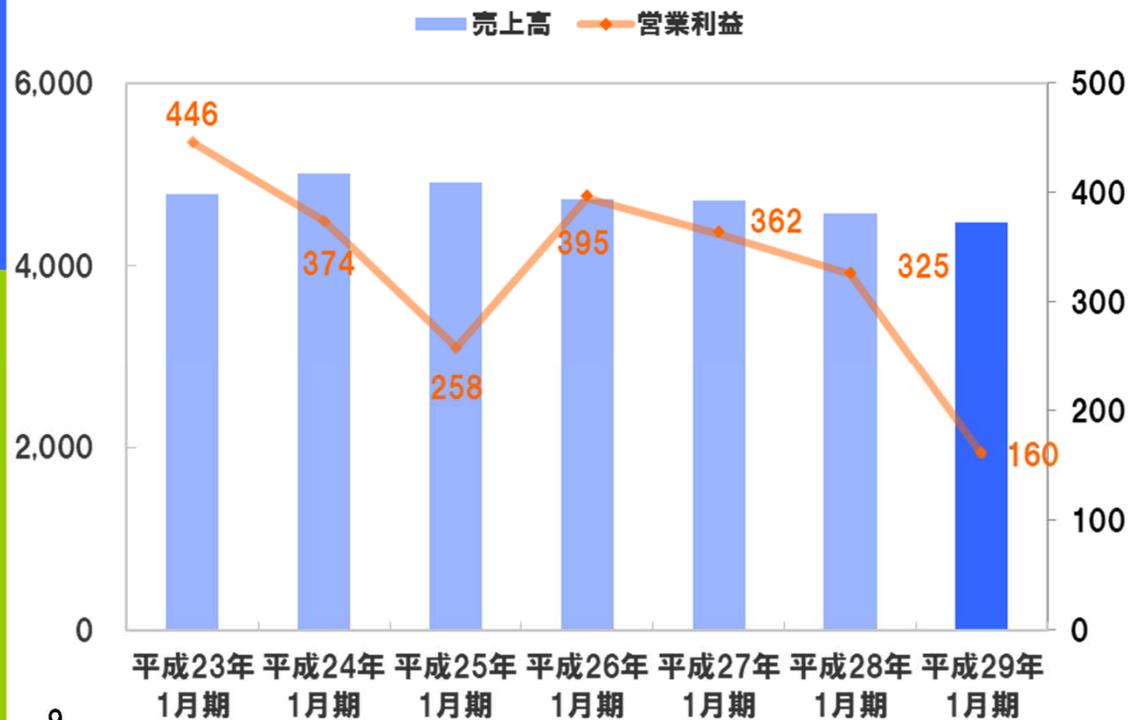


- 図書館受託館数の増加により、売上高は前年比+10.3%の増収となった。
- 営業利益は、他社との競争激化による粗利率の低下や、安定的な人材確保のため人件費関連コストの増加もあり、前年比△8.9%の減益となった。
- 大学図書館・公共図書館等合計の受託館数は、小規模な案件も含め、期初1,091館から115館増加し、期末受託館数は合計1,206館となった。

## 4. 主要事業 ④出版事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成29年 1月期	4,467	160
対前比	△104 (97.7%)	△165 (49.2%)

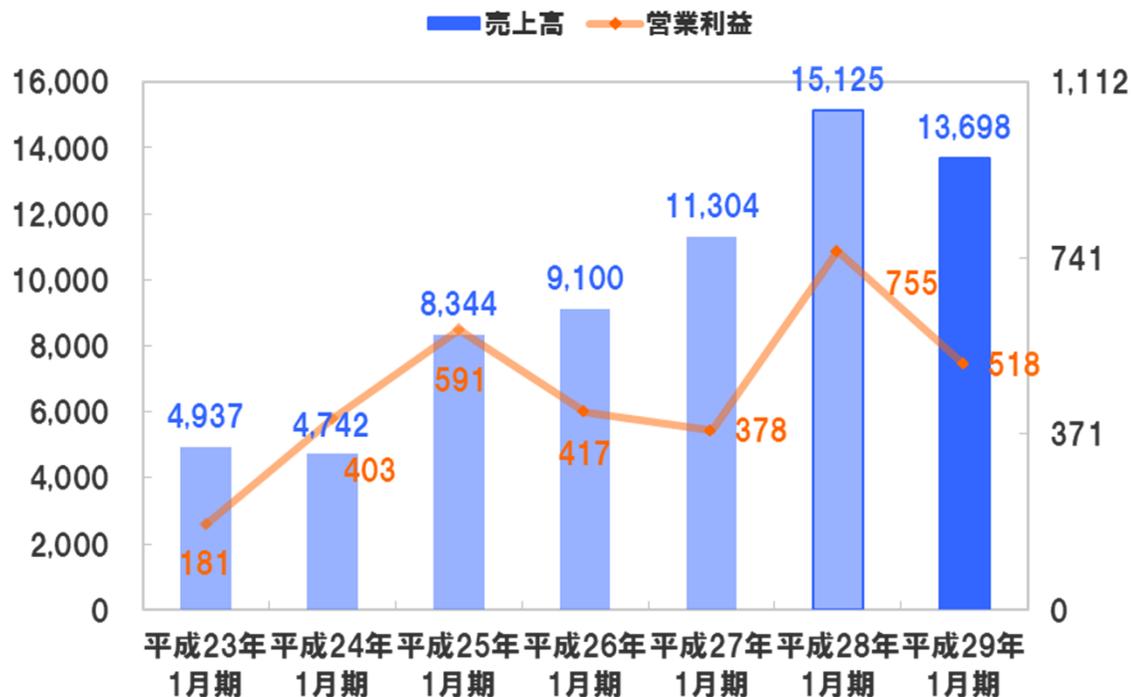


- 新刊刊行数が前年に比べ減少したこと及び映像メディア商品の取引が減少したことにより、売上高は前年比△2.3%の減収となった。
- 営業利益は、棚卸評価損の積み増し等原価が増加した影響もあり、全体で前年比△50.8%の減益となった。
- 当期は、児童書分野及び専門書分野をあわせて、297点の新刊を刊行した。

## 4. 主要事業 ⑤その他事業

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
平成29年 1月期	13,698	518
対前比	△1,427 (90.6%)	△237 (68.6%)



- グローバルソリューションサービス(株)のPC・スマートフォン等修理サービス事業が市場環境の変化から減収となった。また丸善雄松堂(株)の店舗内装業が顧客の出店抑制等により減収となったことから、売上高は前年比△9.4%となった。

- これにより、営業利益も前年比△31.4%と減益となった。

## 5. 来期・平成30年1月期(当社第8期)業績予想

- 平成30年1月期は、丸善(株)と(株)雄松堂書店の経営統合効果の更なる発揮や集客力強化のための店舗改装やスクラップ&ビルド、地域活性化や大学教育に一層の貢献をするための図書館サポート事業の強化・新サービス開発等を推進します。しかしながら、当期において文教市場販売事業で大学教育設備の大型案件、店舗・ネット販売事業で新規加入FC店向け売上があったことから、売上高は前年比約16億円(0.9%増)の微増にとどまる見込みです。
- 営業利益は、上記増収要因や当期一過性のコストが減少する効果もありますが、図書館サポート事業における上記施策推進や処遇改善のための人材コスト増により、前年比10.7%増の22.5億円となる見込みです。
- 経常利益は、為替差損益を保守的に見積り、また金利上昇を見込んだため、前年比0.6%減の20億円を見込みます。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、当期に店舗減損損失を計上したことから、前年比67.0%増の9億円と予想しております。

(単位:百万円)

【平成30年1月期予想】	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
<b>通期業績予想</b>	180,000	2,250	2,000	900
<b>当期実績(通期)との比較</b>	1,595 0.9%増	218 10.7%増	-13 0.7%減	361 66.9%増
[平成29年1月期通期実績]	178,405	2,032	2,013	539

# ご参考資料

## 当期のトピックス

<2016年>

- 2月:丸善(株)と(株)雄松堂書店を経営統合し、丸善雄松堂(株)に商号を変更。
- 4月:監査等委員会設置会社へ移行。
- 4月:丸善&ジュンク堂ネットストアがハイブリッド型総合書店hontoと統合。
- 5月:(株)図書館流通センター、大日本印刷(株)他と視覚障がい者に読書の楽しみを提供する電子図書館システムを開発。
- 7月:丸善雄松堂(株)が企画設計し、(株)図書館流通センターが運営する、つがる市立図書館が青森県つがる市のイオンモールつがる柏にオープン。
- 8月:(株)丸善ジュンク堂書店、待望の『新厨房楽』レトルトシリーズ新発売。そして9月にはハヤシライスの生みの親、丸善の創業者 早矢仕有的の誕生日である9月8日を「ハヤシの日」として制定。
- 10月:(株)図書館流通センターと大日本印刷(株)が、(株)日本電子図書館サービスと資本提携。
- 10月:丸善出版(株)、DVDコンテンツの教育機関向けストリーミング配信サービス「Educational Video Online」のトライアルを開始(2017年4月サービス開始予定)。
- 12月:(株)丸善ジュンク堂書店、(株)図書館流通センター、丸善(株)による図書館と大型書店を融合した文化・交流施設「OKEGAWA honプラス+(オケガワホンプラス)」にて、桶川市、文教大学とともに、文教大学育研究所コレクション「世界の教科書展」を開催。

## 新規出店・リニューアル店舗

<2016年>

2月:ジュンク堂書店 立川高島屋店オープン(約1,000坪、蔵書数約100万冊)

5月:ジュンク堂書店 舞子店に文具売場オープン(約20坪)

8月:ジュンク堂書店 奈良店リニューアルオープン(約300坪、蔵書数約30万冊)

8月:ジュンク堂書店 南船橋店オープン(約900坪、蔵書数約80万冊)

8月:MARUZEN 丸広百貨店東松山店オープン(約280坪、蔵書数約30万冊)

10月:ジュンク堂書店 柏モディ店オープン(約500坪、蔵書数約50万冊)

<2017年>

1月:ジュンク堂書店明石店オープン(約430坪(うち文具60坪)、蔵書数約36万冊)

(同施設(パピオスあかし)4階に、TRCが運営受託するあかし市民図書館同時オープン)

(閉店 2016年3月:ジュンク堂書店 千日前店、9月:札幌北一条店、COMICS JUNKUDO 難波店、

2017年1月:丸善横浜ポルタ店)



MARUZEN CHI  
Holdings

**本資料には、当社および当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。**

**これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。**

**そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。**